

議題 1

令和4年3月30日
 学校教育部指導第一課
 学校教育部指導第二課

令和3年度「広島市児童生徒の体力・運動能力調査」の結果について（報告）

1 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の概要

(1) 調査目的

- ア 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- イ 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ウ 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

(2) 調査対象校数等

ア 調査対象

広島市立小学校第5学年児童、広島市立広島特別支援学校小学部第5学年児童
 広島市立中学校第2学年生徒、広島市立広島中等教育学校（前期課程）第2学年生徒
 広島市立広島特別支援学校中学部第2学年生徒

イ 調査対象校数及び調査人数

校種	小学校	中学校	中等教育学校	特別支援学校	合計
調査対象校数(校)	141	63	1	1	206
調査人数(人)	10,377	8,305	118	0	18,800

(3) 調査実施期間

令和3年4月～7月

(4) 調査事項

ア 児童生徒に対する調査

(ア) 実技調査

種目	体力要素	小学校第5学年 小学部第5学年	中学校第2学年 中学部第2学年
握力	筋力	○	○
上体起こし	筋力・筋持久力	○	○
長座体前屈	柔軟性	○	○
反復横とび	敏しょう性	○	○
20mシャトルラン(往復持久走)	全身持久力	○	○
持久走(男子1,500m・女子1,000m)		—	○
50m走	スピード	○	○
立ち幅とび	瞬発力	○	○
ソフトボール投げ	巧ち性・瞬発力	○	—
ハンドボール投げ		—	○

※ コロナ禍での実施のため、感染のリスクが高い場合には、実施可能なテスト項目のみの実施

(イ) 質問紙調査(小学校19項目 中学校19項目)

運動習慣、体育・保健体育の授業等に関する質問紙調査

イ 学校に対する質問紙調査(小学校25項目 中学校27項目)

児童生徒の体力向上に係る取組、体育・保健体育の授業等に関する質問紙調査

ウ 教育委員会に対する質問紙調査(10項目)

子供の体力向上に係る施策等に関する質問紙調査

2 実技調査の結果

		握力 (k g)				上体起こし (回)				長座体前屈 (c m)			
		小5男子	小5女子	中2男子	中2女子	小5男子	小5女子	中2男子	中2女子	小5男子	小5女子	中2男子	中2女子
R3	全国	16.2	16.1	28.8	23.4	18.9	18.1	25.9	22.2	33.5	37.9	43.6	46.2
	広島県	16.1	16.2	28.9	23.4	19.6	18.9	26.6	23.1	33.6	38.0	44.3	47.0
	広島市	15.6	15.7	28.4	23.0	18.9	18.3	26.2	23.0	32.7	37.5	44.3	46.8
R1	広島市	16.0	15.7	28.5	23.5	20.4	19.6	27.4	24.6	33.2	37.6	44.6	47.3

		反復横跳び (点)				20mシャトルラン (折り返し数)				持久走 (秒)			
		小5男子	小5女子	中2男子	中2女子	小5男子	小5女子	中2男子	中2女子	小5男子	小5女子	中2男子	中2女子
R3	全国	40.4	38.7	51.2	46.3	46.9	38.2	79.5	53.9			407.2	298.3
	広島県	41.4	39.9	52.0	47.1	47.8	38.9	80.3	54.5			408.1	299.7
	広島市	39.9	38.5	51.6	46.5	44.4	34.7	79.4	53.2			405.0	300.2
R1	広島市	42.2	40.4	52.4	47.8	49.7	38.9	82.9	57.0			403.8	294.5

		50m走 (秒)				立ち幅跳び (c m)				(小) ソフトボール投げ (m) (中) ハンドボール投げ (m)			
		小5男子	小5女子	中2男子	中2女子	小5男子	小5女子	中2男子	中2女子	小5男子	小5女子	中2男子	中2女子
R3	全国	9.5	9.6	8.0	8.9	151.4	145.2	196.3	168.0	20.6	13.3	20.2	12.6
	広島県	9.4	9.6	7.9	8.8	153.2	146.9	196.6	168.7	22.7	14.3	21.0	13.4
	広島市	9.4	9.6	7.9	8.8	151.1	144.3	194.4	167.4	22.7	14.1	20.6	13.3
R1	広島市	9.3	9.6	7.9	8.7	151.2	145.2	194.8	169.8	24.4	14.5	20.8	13.5

		体力合計点 (点)			
		小5男子	小5女子	中2男子	中2女子
R3	全国	52.5	54.7	41.1	48.4
	広島県	54.0	56.0	42.3	50.0
	広島市	52.4	54.3	41.2	49.1
R1	広島市	54.4	56.0	42.2	50.9

※ 令和元年度の本市平均値と比べて下がった項目は、網掛けをしている。

3 質問紙調査の結果 (一部抜粋)

		【運動習慣】 1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合			
		小5男子	小5女子	中2男子	中2女子
R3	全国	8.8%	14.4%	7.8%	18.1%
	広島県	9.2%	14.8%	8.4%	16.9%
	広島市	7.8%	12.9%	7.4%	16.4%
R1	広島市	5.7%	10.6%	7.5%	19.1%

4 調査結果の概要

今年度調査の結果、本市の児童生徒の体力の状況は、令和元年度実施の前回調査（令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止）の本市平均値と比較すると、全体的に下がっており、特に、前回調査でも課題となっていた「20mシャトルラン」（全身持久力）の種目において、小学校男女の数値が大きく低下した。（「2 実技調査の結果」参照）

また、「1週間の総運動時間60分未満」の児童生徒については、小学校男子が7.8%、小学校女子が12.9%、中学校男子が7.4%、中学校女子が16.4%となり、全国平均値との比較では、良い値であるが、前回調査の本市平均値と比較すると、小学校では男女とも割合が増加した。（「3 質問紙調査の結果（一部抜粋）」参照）

5 これまでの取組と課題

(1) 授業改善について

① 体力向上推進校における取組

【小学校】

- ・ 体力の課題に応じた準備運動の実施

体力推進リーダーが、小学校において、課題となっている全身持久力を高めるための準備運動（リズム縄跳び）のメニューを作成し、全教員で共有した上で、授業の中で実施した。

【中学校】

- ・ 主運動との接続を図った準備運動の事例集の活用

授業者が、主運動との接続を図った準備運動の事例集（広島市教育委員会作成）を活用し、運動種目毎に高まる体力を生徒に意識させ、準備運動を実施した。

② 課題

- ・ 教育委員会主催の研修会が中止となり、体力向上推進校における取組を十分周知できなかったことなどにより、体力向上推進校以外の学校では、体力向上に係る取組内容に差が生じていることから、開催方法を工夫して研修会を実施することにより、各学校の積極的な取組を促す必要がある。

(2) 運動習慣の定着について

① 体力向上推進校における取組

【小学校】

- ・ 環境整備

授業で行った準備運動について、休憩時間等に児童が自主的に行うことができるようグラウンドに用具を設置した。

- ・ 「体力アップハンドブック」の活用

各体力要素の向上をねらった運動メニューが記載された体力アップハンドブックを、第3学年から第6学年の全児童に配付し、学校だけでなく家庭でも積極的に活用するよう促し、その活用状況を評価・顕彰することなどにより、各自が日常的に目的意識を持って運動に取り組むことができるようにした。

【中学校】

- ・ 各生徒の家庭におけるトレーニングメニューの作成

保健体育の授業において、体力テストの結果をもとに生徒自らが課題を分析した上で、「家庭でもできる手軽な運動事例集」を参考にして課題解決に向けたトレーニングメニューを作成し、家庭で自主的に実践できるようにした。

② 課題

- ・ 新型コロナウイルス感染症等の影響により、外遊びを行う機会が減少したり、部活動等が制限されたりしたことで、児童生徒の運動時間が減少している。こうしたことから、児童生徒が自主的に運動を行うことで、運動時間を確保することができるよう運動習慣の定着に向けて一層取り組んでいく必要がある。
- ・ 教育委員会主催の研修会で体力向上推進校の運動習慣の定着に係る取組について周知し、各学校における実践につなげていく必要がある。

6 今後の取組

(1) 授業改善について

- ・ 体力向上推進校の取組を踏まえ、引き続き、体育・保健体育の授業における効果的な準備運動の在り方等の実践研究及び公開研究会を行う。また、教育委員会主催の研修会で、各学校の体力向上担当教諭を対象に、本市の体力向上に係る現状と課題について共通理解を図った上で、体力向上推進校の取組について周知し、各学校における実践につなげていく。

(2) 運動習慣の定着について

- ・ 近年、児童生徒の運動時間が減少していることから、運動習慣の定着を図るため、体力向上推進校において、授業で実践した運動メニュー等を各家庭で児童生徒一人一人が自主的に実践し、運動に親しむことができるような取組を推進するとともに、その取組内容や成果の普及に取り組む。
- ・ 小学校においては「体力アップハンドブック」、中学校においては「家庭でもできる手軽な運動事例集」の一層の活用を促進するために、広島市小学校教育研究会や広島市中学校教育研究会、広島市中学校体育連盟、広島市中学校文化連盟と連携を図る。